

Tokyo Komaki Ballet Rendition

東京小牧バレエ団公演

創立70周年をむかえて

伝統を継承する踊り手たちが魅せる2日間



倉永 美沙 アルタンフヤグ・ドゥガラー
(ボストン・バレエ)



周東 早苗
(ボストン・バレエ)



森 理世
ミス・ユニバース2007
(特別出演)



火の鳥

音楽：イーゴリ・ストラヴィン斯基 演出・振付：佐々保樹

ディアギレフのバレエ・リュスが生んだ名作の日本初演は1954年。上海バレエ・リュスで同作を踊っていた小牧正英がフォーキン版に基づいて演出・振付しました。東宝主催・日劇で24日間のロングランを記録したこの舞台を手塚治虫氏がご覧になり漫画史に残る名作「火の鳥」が誕生しました。1992年以降は小牧バレエ団出身で20世紀バレエの巨匠アントニー・チューダーの薰陶を受け、米国を中心に活躍してきた佐々保樹の演出・振付により上演してまいりました。2010年にはタイトル・ロールを酒井はなが踊り絶賛されました。今回、火の鳥には国際バレエコンクールで華麗な受賞歴を誇り世界的に活躍しているプリマバレリーナ倉永美沙、イワン王子にはモンゴルが生んだ至宝、アルタンフヤグ・ドゥガラーというボストン・バレエの精銳を迎え、5年ぶりに上演いたします。

ショパン贊歌“憂愁”

音楽：フレデリック・ショパン 原振付：菊池 唯夫 菊池 宗 改訂振付：酒井 正光

1990年、前団長の故・菊池唯夫と菊池宗の振付により初演しました。有名な“雨だれ”や映画「戦場のピアニスト」でも用いられ広く知られるようになった夜想曲をはじめとするショパンの名曲にのせた抒情詩的バレエです。初演ではショパンを思わせる放浪の青年役を夏山周久、その許婚マリア役を大塚礼子が演じ称賛されました。2010年にショパン生誕100年を記念して李波と周東早苗主演で上演し再び好評を博しました。再演の要望が非常に多く今回も李と周東の主演で上演いたします。サロンの主人の妻役としてミス・ユニバース2007（日本人として48年ぶり2人目の世界一）に輝いた森理世が特別出演することになりました。

出演者

倉永 美沙
周東 早苗

ノラ・ケイ/小牧正英 1954年日本初演

*Fire bird
Melancholy*

アルタンフヤグ・ドゥガラー
李 波

ピヤンバ・バットボルト

田中 英幸

平野 玲

今勇也

木淳也

宮祐也

五十嵐耕司

金炫吳弘

川崎真弘

廣瀬陽

宮良輔

周藤壱

瀧澤行則

有馬聰一郎

北村竜也

山川暁太郎

澤井秀幸

原田秀彦

佐藤侑里

高浦美和子

水島かほり

水谷彩乃

和田優奈

松田朱実

小林旺世

渡辺幸

森理世(特別出演)



文化庁委託事業

「平成27年度戦略的芸術文化創造推進事業」

東京小牧バレエ団 宮古島公演

平成28年1月30日(土)・31日(日) マティダ市民劇場(宮古島市文化ホール)

「火の鳥」「白鳥の湖」第2幕